

なるほど!
ザ・ファンド

Q & A

Vol.136

Q.

運用を考えないことも「リスク」とはどういうことですか？

A.

長引く低金利によって、預金などでは資産を増やすことが難しいなか、物価の上昇や社会保険制度の見直しなどで支出が増加してしまう可能性があるからです。

低金利政策の継続、将来的な物価上昇の可能性、それに伴うお金の価値の目減りへの懸念など、家計の資産を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。加えて、社会保険制度の見直しなど家計にとって負担増となる支出についても考慮する必要があります。

今ある資産を守るという観点で「運用」を考えないこともリスクとなるかもしれません。

家計の資産を取り巻く環境のイメージ

大切な資産を守るために
運用を考えないこともリスクの時代に

預金などにおいておくこと自体がリスクとなる可能性も。
今ある資産を増やしていくことをご検討いただくことが重要です。

収入等の減少

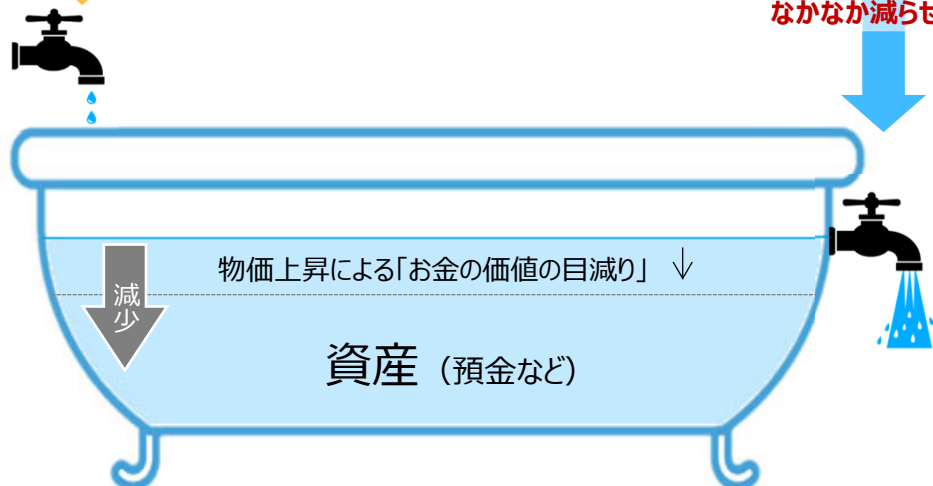
- 賃金の減少・伸び悩み
- 長引く低金利による受取利息の減少
- 年金給付水準は長期的に目減り？

貯蓄（風呂）にプールできる資金（水）が減る要因に

支出等の増加

- 高齢化の進展に伴う医療・介護費用の負担増
- 社会保障費の増大に伴う、社会保険料の引き上げや増税

貯蓄（風呂）から出る資金（水）を
なかなか減らせない



（注）上記はイメージです。家計により異なることがあり、またすべてを記載したものでもありません。

（出所）各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。